

SpectraTrend[®] HT



クイックスタートガイド

バージョン 1.0
A60 -1015-715

2012年9月22日

このドキュメントには、Hunter Associates Laboratory, Inc. の専有情報が含まれています。Hunter Associates Laboratory, Inc. の書面による明示的な同意なしに、その全部または一部を複製することは禁じられています。

Adobe および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。
Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。SpectraTrend および
EasyMatch は、Hunter Associates Laboratory, Inc. の登録商標です。

このクイックスタートガイド ©2012 Hunter Associates Laboratory, Inc. All rights reserved.

SpectraTrend® HT クイックスタートガイドの目次

。.....	
装置の開梱とセットアップ	4
手順 1 ～ 4	
ソフトウェアを使用して装置を動作させるには	6
手順 5 ～ 8	
本機器をスタンドアロンで動作させるには	8
手順 5A ～ 8A	
製品設定パラメータのクイックガイド	12
リファレンスガイド	

HunterLab SpectraTrend HT および EasyMatch®OL ST ソフトウェアの迅速なセットアップと操作については、以下の手順に従ってください。必要に応じて『~~ユーザー~~マニュアル』を参照してください。

製品登録

より良いサポートをご提供できるよう、今すぐ製品登録カードにご記入ください!

HunterLabへのお問い合わせ

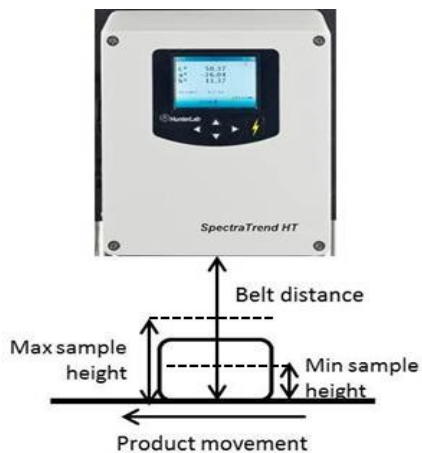
SpectraTrend HT に関するご質問がございましたら、HunterLab (

703-471-6870) までお問い合わせください。製品に関する情報は
、www.hunterlab.com でもご覧いただけます。

本機の開梱とセットアップ

手順 1. SpectraTrend HT センサーの取り付け

- A. センサーを取り付ける場所は、以下の条件を満たす場所を選んでください：
- 製品が安定して設置でき、製品の色を正確に反映できる場所であること；
 - メンテナンスのために時折アクセスできること；
 - ほこりや油などによる汚染が最小限に抑えられること；
 - （フレキシブルベルトコンベアの場合）コンベアが下側から支えられていること；
 - センサーがオープンバンドから離れていること；
 - 温度は50°C（122°F）を超えないこと、
 - 製品からの距離は2.5～4.5インチであり、
 - センサーは、製品面の法線方向に取付けられていること。



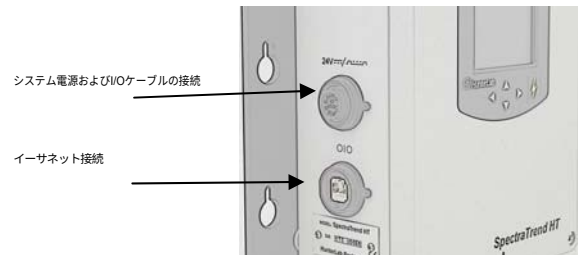
- B. センサーを取り付けプレートに取り付け、アセンブリ全体を希望の位置に設置してください。

ステップ 2. サポートユニットの取り付け

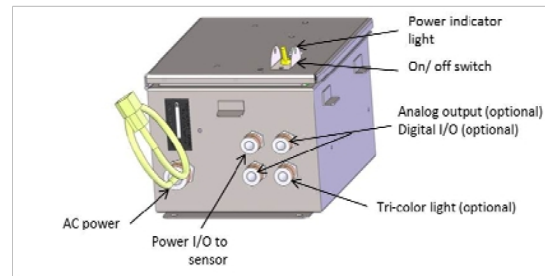
- A. 電源が切れていることを確認してください。
- B. サポートユニットを取り付ける場所を選ぶ際は、以下の条件を満たす場所を選んでください。
 - 周囲温度が 10°~50°C (50°~122°F) で、**50°C (122°F) を超えないこと、**
 - 結露しない状態での周囲湿度が5~95%の範囲内であり、
 - 電源I/Oケーブルがセンサーに届くこと。

手順 3. 電源およびI/O 接続を行う

- A. 10ピンの丸型オスコネクタを、センサー側面のメスコネクタに差し込みます。



- B. このケーブルのもう一方の端をサポートユニットに接続します。
- C. 電源コードをサポートユニットとコンセントに接続します。
- D. サポートユニットから、コンピュータネットワークの適切なハブに RJ-45 (イーサネット) ケーブルを接続します。センサーからコンピュータに直接接続する場合は、クロスケーブルまたはアダプタを使用してください。



- E. アナログ出力デバイスを使用する場合は、アナログ出力対応ユニットのケーブルのアナログ出力端を出力デバイスに接続してください。

ステップ 4. 電源を入れる

- A. サポートユニットのオン/オフスイッチを「ON」の位置にし、コンピュータの電源を入れます。

コンピュータで本機器を動作させるには、コンピュータが以下の最低仕様を満たしていることを確認してください:

プロセッサ	32 ビットまたは 64 ビット
クロック速度	1 GHz
オペレーティングシステム	Windows XP Professional
インストールメディア	CD-ROMドライブ
モニター	19インチ
通信ポート	イーサネット
ポインティングデバイス	シリアルバスまたはUSBマウス
キーボード	強化型
サージ保護	サージプロテクタ

バックアップメディア	50 GB ハードドライブ
------------	---------------

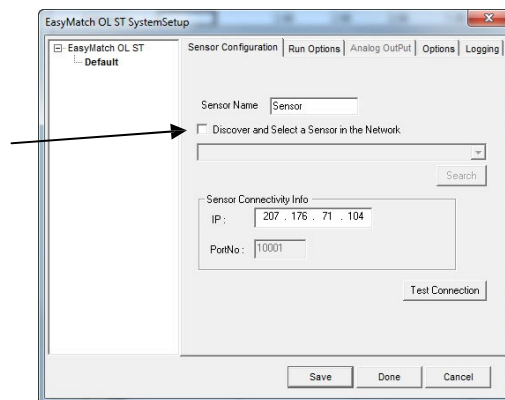
ソフトウェアを使用して機器を動作させるには

手順5. EasyMatch OL ST ソフトウェアのインストール

- A. インストール用CDをコンピュータに挿入します。「EasyMatch OL ST」フォルダに移動し、「EasyMatch OL ST—Unicode.exe」を選択して、ソフトウェアのインストールを開始します。画面の指示に従ってインストールを完了してください。
- B. デスクトップ上の「EasyMatch OL ST」アイコンを選択して、ソフトウェアを起動します。デフォルトのユーザー名は「ADMIN」です。デフォルトのパスワードは「hunterlab」です。

手順6. センサーをソフトウェアに接続する

- A. ソフトウェアのトップメニューバーから「SYSTEM」を選択し、次に
「システム構成」>「システム設定」
- B. [システムセットアップ] から [センサー設定] タブを選択し、ネットワーク内のセンサーを検出するためのチェックボックスをオンにします。その後、[検索] を押してセンサーを見つけます。



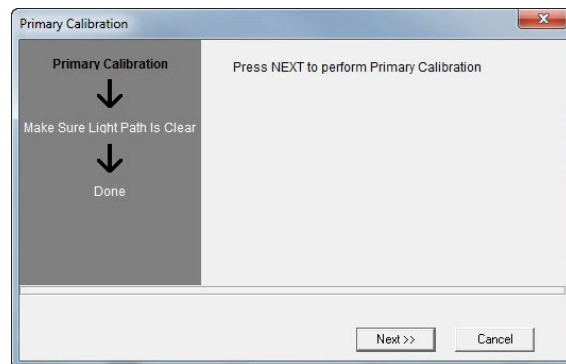
- C. センサーのシリアル番号が検出され、IP アドレスが一致したら、「保存」および「完了」を押します。これにより、「**編集するシステム設定を選択してください**」というメッセージの点滅が止まります。

ステップ8: 製品設定

- A. 上部メニューから「**実行**」を選択し、「**製品設定**」を選択します。「EasyMatch OL ST」の横にある「+」を選択し、**右クリックして「製品設定 1」を選択します**。ページ 1 からページ 4 までのタブを確認し、必要に応じてカラースケール、III/Obs、許容誤差、および製品の高さを変更します。
- 注：製品の高さは、この距離の妥当な推定値として設定する必要があります。*
- B. 「Save & Done」を押します。すると、「**Please Select A Product Setup to Edit**」というメッセージの点滅が止まります。

ステップ9: センサーの標準化

- A. キャリブレーションボックスを、センサーの下にあるトラックにスライドさせてセットします。
- B. トップメニューから [CALIBRATION] > [PRIMARY] を選択し、表示される指示に従ってください。
- C. 標準化が完了したら、センサーからキャリブレーターを取り外し、「OK」を選択します。



手順 10: 製品の測定

- A. 測定を行うには、メインメニューから [RUN] > [BEGIN] を選択します。
- B. JOB FILE を選択するか、新しいジョブ名を入力して SAVE を選択します。
- C. システムが製品の測定を開始します。
- D. 停止するには、[RUN] > [END RUN] を選択するか、[STOP RUN] アイコンを押します。

INSTRUMENT をスタンドアロンで実行するには：手順

5A. センサーの標準化

- A. キャリブレーションボックスを、センサーの下にあるトラックにスライドさせてセットします。
- B. メインメニューから「STANDARDIZE」を選択し、表示される指示に従ってください。
- C. 標準化が完了したら、センサーからキャリブレータを取り外し、右矢印を選択してメインメニューに戻ります。



手順 6A. 製品設定の完了

- A. MAIN メニューから「PRODUCT SETUP」を選択します。



- B. 設定を行うセットアップを選択します。
- C. 各設定タブを順番に選択し、この設定を使用して測定する特定の製品に必要なパラメータを設定します。

- D. 「RUN CONFIG」を選択し、デフォルト値を確認します。これは、用途に合わせて変更する必要があります。詳細については、マニュアルを参照してください。
- E. 測定対象の製品ごとに、手順 C から E を繰り返します。
- F. 「GO（読み取り）」ボタンを使用して、メインメニューに戻ります。

手順 7A. カラー追跡の閾値の設定

- A. 「Track Color」が有効になっている場合（ゼロ以外の値が設定されている場合）、測定された色がターゲット色の事前設定された許容範囲内にある場合にのみ、製品が存在すると認識されます。
- B. カラートラッキングを設定するには、[製品設定] メニューから [許容誤差] および [カラートラッキング] を選択します。
- C. カラートラッキングを有効にするには、許容誤差を設定します。無効にするには、すべての値をゼロに設定します。

手順 8A. 高さトリガーの設定（必要に応じて）

- A. 「HEIGHT TRIGGER」が「YES」に設定されている場合、サンプルが最小高さおよび最大高さの選択範囲内にあるときにのみ、センサーが点滅します。
- B. 高さトリガーを有効にするには、[Product Setup] メニューから [Run Config] を選択し、[Height Trigger] までスクロールして [YES] に設定します。
- C. 製品に適した最小高さおよび最大高さを設定してください。

詳細については、『SpectraTrend HT ユーザーマニュアル』を参照してください。

